

2025年日本平和大会実行委員会ニュースno.8



発行:2025年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2025/9/19

Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

- **新政権**とのたたかいがはじまる
8.8兆円の大軍拡予算を許さない
- **今秋**、アメリカ言いなりの大軍拡・戦争国家づくり計画の前倒しを検討する動き
- **年度内に**敵地攻撃能力の実戦配備
★米軍の指揮で他国を先制攻撃=「戦争する国」が新しい段階に
長射程ミサイル(熊本)、高速滑空弾(静岡)の配備開始。トマホーク納入開始(長崎)。
- **来年初めに**護衛艦輸出の商談をまとめる
- **1月**には名護市長選挙(1/25 投開票)

この秋、重大な局面の中で迎える今年の大会
国際シンポ、本大会ともに成功させよう！

9月18日午前、オンライン併用で第8回実行委員会を開催。10団体と愛知県実行委から15人が参加しました。

はじめに、東森安保破棄中央実行委事務局長が情勢報告を兼ねたあいさつし(下に要旨)、さらに前日に行われたプレ企画の報告、熊本・健軍駐屯地への長射程ミサイル配備反対運動の様子、愛知県実行委の取り組み、朝鮮半島非核化や非核平和の東アジアの実現に向けた「日韓連帯代表团」(9/9~13)についての報告があり、今年の大会の意義などを改めて確認しました。



続いて企画の具体化、要員体制等について検討。開会集会では、熊本・健軍駐屯地へのミサイル配備反対のたたかいの発言を予定していますが、そこに他の配備予定地(5道県)の代表も登壇して配備反対の全国の意思を示す場とする、若者を戦場に送るなの訴えでは子ども版『防衛白書』の小学校配布に反対する運動も紹介するなど、この間のたたかいを反映したものにすることが討議されました。

第8回実行委員会開催



開会あいさつ（要旨） 10月4日の自民党総裁選挙にむけた報道がメディアを賑わしています。参議院選挙で敗北したのち自民党は50日間にわたって権力争いを続けてきましたが、新政権ができるまでにさらに1か月以上の「政治空白」が続きます。

物価問題をはじめ、国民の暮らしにかかわる重要課題を放置して、国会も開かない対応は許されません。すべての野党・会派は、憲法53条に基づいて早期の臨時国会開会を要求しています。

他方で、安保法制強行から明日(19日)で10年ですが、「安保3文書」に基づく「戦争する国づくり」は急ピッチで進められています。

政府はこの間、長射程ミサイルの改良などを進めてきましたが、8月29日には最初の配備計画を発表し、今年度から27年度までに全国6道県に配備するとし、最初に熊本の健軍駐屯地と静岡の富士駐屯地に配備することなどを発表しました。熊本をはじめ、全国で反対の運動が起きています。

また、米海兵隊と陸上自衛隊による過去最大の日米の「島嶼奪還訓練・レゾリ्यूート・ドラゴン」が11日から25日まで沖縄・九州を中心に全国8道県で行われています。新潟の関山演習場を中心とした日・米・豪軍の実動訓練（オリエントシールド25）も16日から行われています。

政府は、2022年12月に閣議決定した「安保3文書」のうち10年とされてきた「国家防衛戦略」と5年とされてきた「防衛力整備計画」の前倒し改定に向けて今秋にも与党内で議論を開始する検討に入ったと報道されています。アメリカの圧力による軍事予算の膨張などにより、前倒し改定が検討されているとみられます。小学生向けに続いて中学生・高校生向けの防衛白書も発行される情勢です。

このようなアメリカ言いなりの「軍事優先社会」へ突き進む流れを止めて、平和の流れへと変えていくのが平和大会運動の使命です。昨日のプレ企画から平和大会が始まり、次のプレ企画は9月29日です。10月4日には国際シンポジウムが行なわれ、本番の10月下旬には新しい政権ができ、それとどうたたかうかが、焦点になる可能性が強いと思います。この重要な時期にふさわしい大会の成功に向けてみなさまのご奮闘をお願いします。

・・

オプション企画10/24 軍需産業をめぐるフィールドワーク

★第1次締切は9/24です。この時点で定員に達すると調整させていただきます。

中央団体は、中央団体用の「大会参加申し込み用紙」（発信済）を使って申し込んで下さい。定員になり次第締め切りとなります。終了後の参加者交流会（4,500円）の申し込みも同時に受け付けています。

オンラインプレ企画② 殺傷武器輸出問題で9/29夜に開催

このテーマは、大会のつどいと分科会でも関連したものがありますが、それらよりじっくりかつ深く学ぶ場となります。事前学習のために、また、大会では他のつどい・分科会を希望している方のために企画されました。主催は日本平和委員会。殺傷武器輸出反対署名をよびかけており、その飛躍の場とも位置付けられ、10月上旬には国会要請も行う予定とのことです。

国際シンポ10/4 無法な戦争の中、国連憲章と核禁条約を力に

★9月30日までに参加費1,000円の送金が必要です。

大国による無法な戦争が繰り広げられるなか、核兵器のない国連憲章に基づく平和なアジアをどうつくるのかを、アメリカ、韓国、ベトナムの市民運動の代表とともに議論を深めます。**今後の展望について学び確信を得る機会となります。広く視聴をよびかけましょう。**

・・

■今後の実行委員会 第9回実行委員会 10月16日(木)10時～12時